

寄附・寄贈者芳名 (12月1日～1月31日) 御寄附・御寄贈いただき、誠にありがとうございました。

(株)琉球ドラゴンプロレスリング 様



【写真左から2番目】
まえだ みさき 様
(株式会社琉球ドラゴンプロレスリング プロレスラー)
【写真左から1番目】
與座 寿美恵 様
(株式会社琉球ドラゴンプロレスリング スタッフ)
【写真右から2番目】
本会 事務局長 高良 正樹
【写真右から1番目】
本会 総務企画部長 新崎 盛信

(株)サンレー 様



【写真左から3番目】
佐久間 康弘 様
(株式会社サンレー 代表取締役社長)
【写真左から2番目】
黒木 昭一 様
(株式会社サンレー 取締役沖縄事業部長)
【写真左から1番目】
横木 大輔 様
(株式会社サンレー 管理部部长)
【写真右から2番目】
本会 会長 湧川 昌秀
【写真右から1番目】
本会 常務理事 嘉陽 孝治

上原 吉二 様



【写真左から3番目】
上原 吉二 様
【写真左から2番目】
島袋 清助 様
【写真左から1番目】
上原 純子 様
【写真右から1番目】
本会 常務理事 嘉陽 孝治

エヌエヌ生命保険(株)様



【写真左から2番目】
浅沼 大輔 様
(エヌエヌ生命保険株式会社 西日本エリア統括部長)
【写真左から1番目】
丸 仁 様
(エヌエヌ生命保険株式会社 沖縄営業部長)
【写真右から2番目】
本会 会長 湧川 昌秀
【写真右から1番目】
本会 常務理事 嘉陽 孝治

古波津 昇 様



【写真右】
古波津 昇 様
【写真左】
本会 会長 湧川 昌秀

公益社団法人 沖縄県宅地建物取引業協会 様



【写真左から2番目】
渡久地 政彦 様
(公益社団法人 沖縄県宅地建物取引業協会 会長)
【写真左から1番目】
本会 会長 湧川 昌秀
【写真右から2番目】
公益財団法人 沖縄県交通遺児育成会 様
【写真右から1番目】
NPO 法人 MESH サポート 様

緑の風 様



【写真左から1番目】
喜舎場 兼生 様
【写真右から1番目】
宮平 正博 様
【写真中央】
本会 常務理事 嘉陽 孝治

ろうきんおもろまち地区・県庁地区推進委員会 様



【写真右から1番目】
川平 朝之 様
(おもろまち地区推進委員会 推進委員長)
【写真左から3番目】
宮城 武 様
(県庁地区推進委員会 推進委員長)
【写真左から2番目】
伊野前 毅 様
(沖縄県労働金庫おもろまち支店 支店長)
【写真左から1番目】
平良 光 様
(沖縄県労働金庫県庁出張所 所長)
【写真右から2番目】
本会 会長 湧川 昌秀

写真掲載以外の寄附・寄贈者芳名

- 比嘉 梨香 様
- 株式会社ツルハホールディングス 様
- 生活協同組合 コープおきなわ 様
- 一般社団法人 OS 管財 様

※本会への寄附については、税制上の優遇措置が受けられます。詳しくは総務企画部まで

表紙の作品

作品名
「涼風の中 疾走の高速船」



作成者
屋富祖 良敬さん

先輩からカメラを譲り受けたことがきっかけで、定年退職後に写真を撮り始めた屋富祖良敬さん(76歳)。月刊誌や公募展へ挑戦すると同時に、写真家の先生が開催する講座の受講やフォトサークルへの入会により、カメラの機能や技術を学んだり、多くの作品に触れることで、奥深い写真の魅力にはまっていったといいます。

今回の作品は、「流し撮り」という技法で、風を切るスピード感を表現。さらにギンネムの新芽を前ボケに使用するなど、手前から背景に至るまで考え抜かれた一枚です。

一期一会の出逢いを大切に、見る方にどう伝えるのか、試行錯誤しながら写真と向き合う屋富祖さん。今後は、生成AIを駆使してクリエイティブな合成写真にも挑戦したいそうです。

【人から欲がなくなると進歩がなくなる】数々の賞を受賞してもなお挑み続ける、ご自身の言葉どおりの姿に感服しました。さらなるご活躍をお祈りしています。

社会福祉ライブラリーから
本の紹介

やさしくわかる
はじめての手話

監修：手話教室 華乃樹
出版社：ナツメ社

あいさつなどの基本から、気持ちの表現、さまざまな場面のできる対話文まで、これから手話を始める方や、もっと深く学びたい方におすすめです。

手指の動きや、表情がわかりやすいように、オールカラーで、大きく見やすいイラストを掲載しています。

実際のコミュニケーションをイメージしながら、楽しく学べる構成になっています。

手話を学びたい方におすすめの1冊です。



福祉情報 おきなわ Vol. 226 2026.3.1



作品名：「涼風の中 疾走の高速船」(第15回かりゆし美術展 写真の部 銀賞)
作成者：屋富祖 良敬 さん(那覇市)

目次

- 2 <<特集>> THANKS(サンクス)運動の活動紹介
- 4 沖縄県民生委員児童委員協議会 民生委員・児童委員一斉改選を経て、新体制での活動がスタート!
- 5 第16回沖縄ねんりんピックかりゆし美術展 開催/沖縄県かりゆし長寿大学校 令和7年度 学習発表会
- 6 DWAT おきなわについて
- 7 全社協・中央共募会長表彰合同伝達式を開催 /「ソウェルクラブ”クラブオブ”」のご案内
- 8 福祉サービス利用援助事業(日常生活自立支援事業)2026年4月1日より料金改定
- 9 第28回介護支援専門員実務研修受講試験 結果について 他
- 10 令和7年度NHK歳末たすけあい募金 助成団体が決定しました! 他
- 12 寄附者芳名、表紙の作者のご紹介 他

広報誌「福祉情報おきなわ」の作成経費の一部に共同募金配分金を活用しております。

編集・発行

沖縄県社会福祉協議会
沖縄県共同募金会

〒903-8603 那覇市首里石嶺町4-373-1(県総合福祉センター内)
tel.098-887-2000 fax.098-887-2024 www.okishakyo.or.jp

制作/株式会社スイッチ





県社協では、平成 29 年度より社会的孤立の解消・防止を目的とした「THANKS (サンクス) 運動」を展開しています。福祉関係者だけでなく、企業・団体を含む県民の皆様の理解と参画を得るため、セミナーの開催や助成事業による活動の支援、協賛団体の加入促進、こどもの居場所への支援にも取り組んでいます。今回の特集では、THANKS (サンクス) 運動取り組みの一例をご紹介します。

企業・団体の地域貢献活動推進セミナー

「福祉と地域 × 企業」の協働による豊かな地域づくり

企業・団体の地域貢献活動への関心は年々高まっており、地域課題の解決に向けて、企業の強みを活かした協働が求められています。

このセミナーは「地域でできること」を考え、課題の共有や協働事例を通して連携のヒントを得ることを目的に開催しました。企業・団体や社協、行政・福祉関係者などが参加し、実践例から今後の活動やネットワークづくりにつなげています。



▲セミナーでの実践事例の報告

THANKS (サンクス) 運動基金助成事業

基金を財源に福祉団体へ活動資金を助成

協賛団体や個人から寄せられた寄附金を基金として積み立て、県内の福祉団体が行う活動に対し助成を行うことで、運動の推進につなげています。令和 6 年度から助成をスタートし、下記の 2 団体の活動を支援しました。

沖縄市社協

買い物支援サービス、出張なんでも相談会

池原自治会を中心とした地域の関係者との話し合いから、買い物が困難な方がいるという地域課題を把握し、送迎車を運行して買い物の同行・付き添いを行う「買い物支援サービス」を実施しました。

また、社協職員が地域の自治会・公民館に出向いて相談を受け付ける「出張なんでも相談会」にも取り組みました。



北谷町社協

支え合い委員会の設置

町内 2 つの自治会をモデル指定して、「支え合い委員会」の設置を進めました。

このうち宮城区自治会では、地域の防災力を高めることを目的に「防災講演会」を開催しました。役場職員や消防職員による講演や救護者移送訓練、非常用持出袋の配布などを行い、災害時における平時からの取り組みや備えを再確認しました。



協賛団体の加入促進

運動へ賛同する県内企業を募集中

運動の趣旨に賛同する企業・団体・個人を対象に「協賛団体」として登録し、運動のサポートにご協力いただいています。

協賛団体には具体的には、①寄附・寄贈を通じた支援、②運動の広報・PR、③地域での貢献活動などを通して運動を推進していただきます。

企業の強みを活かした取り組みを推進しながら、地域全体で支え合う社会づくりをとともに進めています。

令和 8 年 1 月現在、9 団体・1 個人にご加入いただいています。THANKS (サンクス) 運動推進会議事務局では、県内企業・団体の協賛団体への加入を募集しています。



▲協賛団体登録証交付式 (R7 年 12 月)

協賛団体・個人 (R8.1 月現在)

古波津昇様、株式会社沖縄ダイケン様、有限会社デーコム様、株式会社琉球銀行様
株式会社国建様、株式会社イマジン様、損害保険ジャパン株式会社沖縄支店様
瑞泉酒造株式会社様、生活協同組合コープおきなわ様、沖縄食糧株式会社様

こどもの居場所への支援

こどもの居場所をネットワークで支える



▲「スパイスミーティング」(R8 年 1 月)

沖縄県から委託を受け、地域の「こどもの居場所(こども食堂等)」の活動を支えることを目的に「こどもの居場所ネットワーク事業」を実施しています。

助成金やイベントに関する情報発信や連絡会・研修会の開催を通して、県内のこどもの居場所の活動を支える運営者や支援者がゆるやかにつながり、支え合う広域的なネットワークをつくることで、子どもたちが安心して暮らせる地域づくりを推進しています。

1 月 19 日には「全体連絡会「スパイス・ミーティング」」を開催し、こどもの居場所の活動の向上とネットワークの強化を図りました。活動年数や活動形態の異なる団体の実践報告や中間支援団体の取り組みを共有し、参加者同士の情報交換を通して交流を深めました。

THANKS (サンクス) 運動推進会議 (事務局：県社協地域福祉部)

tel.098-887-2000 mail i-tiiki@okishakyo.or.jp

THANKS (サンクス) 運動ホームページ URL <https://www.okishakyo.or.jp/thanks/>





沖縄県民生委員児童委員協議会

民生委員・児童委員一斉改選を経て、新体制での活動がスタート!

民生委員・児童委員一斉改選

昨年の12月1日、全国一斉に民生委員・児童委員の斉改選が行われ、沖縄県においては、1,786人の民生委員・児童委員が委嘱され、新たに181名の新人民生委員・児童委員が誕生しました。

(R7年12月1日時点の沖縄県の状況)

定数	2,492人
委嘱数	1,786人
充足率	72%
新任委員数	181人

引き続き、民生委員・児童委員を募集しています!

概ね75歳未満の方で、地域福祉活動に賛同し、実際に活動できる方を募集しています。ただし、地域の実情等により75歳未満の適任者を得ることができない場合、75歳から80歳の者を再任者として再任することができますので、気になる方は、お住まいの各市町村民生委員児童委員協議会までお問い合わせください。

会長・副会長が決定し、新たな体制がスタート

民生委員・児童委員の一斉改選に伴い、昨年12月18日には、沖縄県民生委員児童委員協議会の臨時総会が沖縄県総合福祉センターにて開かれました。臨時総会では、県内の単位民児協会長及び市町村民児協会長が出席し、新役員を選出が行われました。その後、新理事による理事会を開催し、互選により会長・副会長の候補者を選出し、総会の承認を得て、新たな会長(1名)・副会長(4名)が決定し、正副会長と新たに就任された理事(14名)・監事(3名)合わせて、22名で新たな体制がスタートすることになりました。

県社協、県生活福祉部、こども未来部への表敬

1月13日、新たな会長・副会長は、県社協 湧川昌秀会長へ就任のあいさつのため表敬しました。その後、県生活福祉部とこども未来部へあいさつ、意見交換をさせていただきました。中村会長から県に対しては、全国と比較しても依然として充足率が低いことへの危機感と、離島の民生委員が活動しやすい環境づくりの提案等を踏まえ、「地域福祉を推進していくためには、民生委員児童委員の力が必要。本県の充足率85%を目標に、県民児協、県が一丸となって取り組みを進めていきたい」と意気込みを語りました。



- 【写真左から3番目】 なかむら みつお 中村 光雄 会長(那覇市)
- 【写真左から2番目】 とくむら のりお 徳村 徳夫 副会長(恩納村)
- 【写真左から1番目】 さきはら たかし 崎原 喬 副会長(石垣市)
- 【写真左から5番目】 あはれん としのり 阿波連 俊憲 副会長(糸満市)
- 【写真左から4番目】 わくがわ まさひで 湧川 昌秀 会長(沖縄県社会福祉協議会)
- あらかき わかこ ※新垣 和歌子 副会長は所用により欠席

これから3年間の県民児協の重点目標

- ① 民生委員・児童委員の充足率向上
～ なりて不足の要因を分析しながら、充足率85%をめざします～
- ② 広報活動の強化
～ 市民に対しての民生委員の認知度アップと関係機関への広報周知の強化を図ります～
- ③ 主任児童委員の役割・連携の強化
～ 主任児童委員の役割を明確にし、主任児童委員活動の充実にに向けた取り組みを推進します～



▲県生活福祉部への表敬・意見交換

第16回 沖縄ねんりんピックかりゆし美術展開催

59歳以上のアマチュア作家の作品展示を行う「第16回沖縄ねんりんピックかりゆし美術展」が令和7年12月2日から6日まで、浦添市美術館で開催されました(主催:沖縄県、県社協)。6部門の計179点が展示され、県内外から延べ1,356人が来場しました。総受賞者数は56点、無鑑査1点、特別賞1点です。受賞された皆様、誠にありがとうございます!各部門上位2作品は、今年開催される第38回全国健康福祉祭埼玉大会に出品される予定です。



▲オープニングセレモニーテープカット

受賞者の皆さま



日本画部門受賞者



洋画部門受賞者



彫刻部門受賞者



工芸部門受賞者



書部門受賞者



写真部門受賞者

沖縄県かりゆし長寿大学校 令和7年度学習発表会

沖縄県かりゆし長寿大学校学習発表会が、1月29日、県総合福祉センターで開催されました。地域文化学科・健康福祉学科・生活環境学科の学科ごとに1年間の学びの集大成を披露しました。舞台発表の部では、学生が自ら衣装や小道具を準備し、オリジナルの台本による寸劇や踊り、歌などの発表が行われました。学科展示の部では、講義や校外活動で学んだ内容を、写真・製作物を用いて紹介しました。また、5つのクラブ活動(絵画・漢方薬草・写真・書道・園芸)の作品展示では、1年間の活動で得た知識や技術をもとに作られた作品を披露しました。

多様な人生経験を持つ学生が互いに学びあう、かりゆし長寿大学校ならではの素晴らしい学習発表会となりました。



▲舞台発表
(地域文化学科 火曜日コース)



▲学科展示
(健康福祉学科 火曜日コース)



▲クラブ活動
(絵画クラブ)

法改正で広がる災害派遣福祉チーム (DWAT おきなわ) の役割と使命 ～平時からつなぐ災害福祉支援～

災害派遣福祉チーム (DWATおきなわ) とは

災害時において、何らかの支援が必要な要配慮者（高齢者、障害者、子ども等）の避難所生活の長期化による二次被害の防止を目的に活動する福祉専門職のチームです。（Disaster Welfare Assistance Team）

県社協では、県から委託を受け、沖縄県の災害派遣福祉チーム（以下、DWATおきなわ）の具体的な活動や派遣体制を整えるために、令和元年にDWATおきなわのチーム員登録研修を開始しました。毎年研修を継続し、令和8年1月時点現在では、県内の福祉専門職211名がチーム員として登録し、災害時の要配慮者支援を担う人材として備えを進めています。

登録者は、多様な専門資格を有しており、介護福祉士、社会福祉士、介護支援専門員、精神保健福祉士、公認心理師、保健師、看護師・准看護師、相談支援専門員、生活相談員、保育士、児童指導員、救急認定ソーシャルワーカー、防災士等と幅広い専門職が集結しています。

令和6年能登半島地震において、DWATおきなわとしては、初めて被災地支援にあたり、石川県の1.5次避難所へ4チーム計14名を派遣し、福祉相談や2次避難所への移行調整等の支援に従事しました。



『災害対策基本法等の改正』で拡大するDWATの活動範囲

令和7年の災害対策基本法等の改正で、災害時の救助の種類に新たに「福祉サービスの提供」が加えられました。

つまり、災害時の支援として、『福祉の支援』が明確に位置づけられたことになり、福祉専門職が災害時に果たす役割がこれまで以上に重要になることを意味しています。

また、この法改正に伴い、災害派遣福祉チーム (DWAT) の活動範囲が避難所支援に留まらず、在宅避難者や車中泊避難者、被災した福祉施設への支援に拡大されました。

平時からつなぐ災害福祉支援 (チーム員の資質向上と多職種連携)

災害派遣福祉チーム (DWAT) の活動範囲が広がった今、求められるのは「平時からの備え」です。

県社協では、県内市町村社協や福祉施設、行政、専門職団体等との連携を一層強化し、チーム員の増員や、研修・訓練の充実を図ることが重要だと考えています。

その取り組みの一つとして、チーム員に対するスキルアップ研修を実施しました。この研修では、支援対象に応じた具体的な支援方法を学び、チーム員の資質向上に努めました。

また、保健・医療・福祉の各分野の専門職チーム (DMAT、DHEAT、DPAT等) との連携強化を目的に、県行政の各主管課と意見交換会を開催し、災害時における災害派遣福祉チーム (DWAT) の概要やその役割への理解を深めました。加えて、保健・医療・福祉の各専門職チーム同士の今後の連携の在り方として、メーリングリストの作成による迅速な情報共有や、相互の研修・訓練へのオブザーバー参加を通じ、平時から「顔の見える関係」を構築することを確認しました。今後、県社協としてもチーム員の増員と資質向上に努め、平時から多職種専門職チームとの関係づくりに取組み、災害時の多様な支援ニーズに対応できるよう、体制構築を進めてまいります。



R7年度 DWAT おきなわスキルアップ研修の様子

令和7年度全国社会福祉協議会会長表彰・中央共同募金会会長表彰合同伝達式を開催

県社協・県共募では、2月12日に県総合福祉センターにて「令和7年度全国社会福祉協議会会長表彰・中央共同募金会会長表彰合同伝達式」を開催しました。

去る11月12日に東京で開催された全国社会福祉大会の出席者及び出席が叶わなかった本県の受賞者に対して、湧川昌秀県社協・県共募会長から伝達を行いました。

今年度の社会福祉協議会会長表彰は、民生委員・児童委員功労4名、社会福祉法人・福祉施設功労2名、社協・民間社会福祉団体功労3名、永年勤続功労11名、社協優良活動1団体が受賞しました。

また、中央共同募金会会長表彰は、優良地区・団体1団体が受賞しました。



受賞者集合



受賞者代表あいさつを述べる 岸本睦子氏

伝達式では、湧川会長から「皆様のこれまでのご功績に対し、心から感謝と敬意を表します。そして、そのご功績が必ずや関係者のお手本・励みとなり、多くの後輩が引き継いでいくものと確信しております」と受賞者に対する祝福の言葉が述べられました。

また、受賞者を代表して、やまびこ久辺保育園の岸本睦子氏（永年勤続功労者）から「子どもたちの健やかな成長を願いながら、地域の皆様と共に悩み・考えて積み重ねた日々を評価していただけたことは、現場で働く私たちの大きな励みとなります。この度の受賞を新たな出発点とし、初心を忘れず、保育・福祉の担い手として誠実に歩み続けてまいります」と、受賞の喜びと支えて下さった方々への感謝、今後の決意が述べられました。

「ソウェルクラブ “クラブオフ”」のご案内



クラブオフは、ソウェルクラブ会員の皆さまだけにご利用いただける、特別な福利厚生サービスです。全国の宿泊施設やレジャー施設、グルメをはじめ、国内外20万件以上の多彩な施設やサービスを会員優待価格でご利用いただけます。

ソウェルクラブ会員は、無料でクラブオフスタンダード会員として登録でき、会員さまに同行するご友人と一緒にサービスを受けることができます。

さらに、ご本人が同行できない場合でも、同居の2親等以内のご家族や、そのご家族に同行されるご友人が受けられるサービスもあり、幅広い家族構成や年齢、交友関係を対象とする利用しやすい内容となっています。

多彩な特典を通じて、日常のちょっとしたお出かけから、記念日や旅行などの特別なシーンまで、幅広くご利用いただけますので、ぜひご登録のうえ、サービスの魅力を実際にご体験ください。

沖縄県内で利用できるサービスを一部ご紹介

- ・ コメダ珈琲店 (対象のドリンクのみ たっぷりサイズへサイズアップ無料)
- ・ ジョリーパスタ (ドリンクパー税込110円引)
- ・ ステーキハウス88 (お食事のお客様 ソフトドリンク1杯サービス)
- ・ カラオケまねきねこ (室料: 20%OFF、4名様以上のご利用は30%OFF)
- ・ 沖縄こどもの国 (入園料 大人(16歳以上)1,000円→800円)

※このほかにも、魅力的な優待が多数そろっています。サービスの詳細や対象店舗については、クラブオフホームページにて最新情報をご確認ください。なお、掲載内容は2026年1月時点の情報であり、変更される場合があります。

★ご希望に応じてVIP会員(月額550円/税込)へのアップグレードも可能です。より充実した特典をお求めの方におすすめです!

クラブオフご利用までの流れ

ソウェルクラブの会員専用ページにログイン後、クラブオフのホームページにお進みください。「新規会員登録」から会員スタイル(スタンダード会員/VIP会員)を選び、案内に沿って必要事項を入力するだけで登録が完了し、すぐにご利用を開始できます。

また、クラブオフはパソコンだけでなく、スマートフォンからも手軽にアクセスできます。クラブオフアプリをダウンロード(無料)すると、サービス検索やクーポン取得がよりスムーズになり、外出先でも便利にご利用いただけます。

ご登録いただくことで、さまざまな特典を気軽にお楽しみいただけますので、日々の生活にどうぞお役立てください!

お問い合わせ：福祉人材研修センター ☎098-882-5703

福祉サービス利用援助事業（日常生活自立支援事業）

2026年4月1日より料金改定

本事業は、利用者の皆様からの利用料と補助金により運営していますが、近年の件数や物価等の上昇により、必要な運営経費の確保が難しくなっています。本会では、業務の効率化や経費削減など最大限の努力を重ねてまいりましたが、事業を安定的に継続し、必要とされる方に広くサービスを届けるため、利用料及び交通費を改定することといたしました。何卒ご理解をお願いいたします。

新料金 (消費税込み)	利用料	1時間： 1,600 円 ※以降、30分ごとに 500 円 加算 (生活保護受給者は従来どおり1回 400 円)
	交通費	1 kmあたり： 20 円 ※生活支援員が支援の際にかかった距離



お問い合わせは、お近くの市町村社会福祉協議会
もしくは、沖縄県社会福祉協議会 まで



第28回 介護支援専門員実務研修受講試験

沖縄県の合格者 149人(合格率 23.6%)
介護人材キャリアアップ研修受講者の合格率は 41.6%

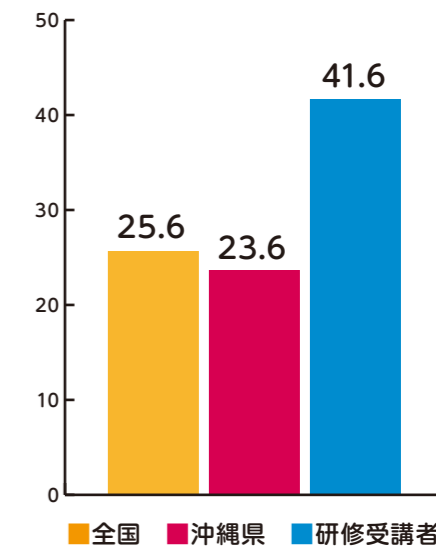
県社協では、介護支援専門員（ケアマネージャー、以下「ケアマネ」）の確保を目的とした介護支援専門員実務研修受講試験を令和7年10月12日に実施し、631人が受験しました。去った11月25日に試験の合格発表があり、本県の合格者は149人、合格率は23.6%でした。合格された皆様、おめでとうございます！

高齢化の進展や人手不足のなか、介護が必要な高齢者が自立した生活を送るために、適切な介護サービスを受けられるよう支援するケアマネの確保・養成が重要となっています。

これらを踏まえ、本会では、ケアマネ実務研修受講試験対策を兼ねた「介護人材キャリアアップ研修」を実施しています。今年度の研修受講者の試験合格率は全国平均（25.6%）を大きく上回る41.6%でした。

次年度も引き続き、介護職等の中堅職員やキャリアアップを目指す方を対象にケアマネジメントの理念や基礎知識を学ぶ「介護人材キャリアアップ研修」を開催します。研修の受講については、沖縄県福祉人材研修センター（098-882-5703）までお問合せください。

ケアマネ試験合格率



しせつの損害補償

令和8年度版

「しせつの損害補償」に新たな加入方式「法人包括プラン」ができました。従来の「しせつの損害補償（施設単位加入）」と「法人包括プラン（法人包括加入）」のいずれかを選択・加入できます。

法人包括プラン NEW

「法人包括プラン」は、福祉施設・事業を経営・運営する社会福祉法人が加入対象です。（社会福祉協議会を除く）

- 第1種 社会福祉事業
 - 第2種 社会福祉事業
 - 収益事業
 - 公益事業
- 全ての施設・事業を自動補償

- ポイント1 安心 福祉施設（事業）の明細要らずで、全ての福祉施設・事業を賠償事故からまとめて補償
- ポイント2 便利 期中で新たに始めた福祉施設（事業）も手続き不要で自動補償
- ポイント3 簡単 契約時は全ての入所型・通所型施設の合計定員数の申告のみ（保育所は別途加入）

しせつの損害補償 (従来の加入方式)

従来のしせつの損害補償は、社会福祉法人、社会福祉協議会、公立福祉施設（自治体）、NPO法人、公益社団法人、公益財団法人が加入対象です。

「法人包括プラン」・「しせつの損害補償（従来の加入方式）」ともプラン1～4は、共通内容です。

- プラン1 施設業務の補償
- プラン2 施設利用者の補償
- プラン3 職員等の補償
- プラン4 法人役員等の補償

● このご案内は概要を説明したものです。詳細は「しせつの損害補償」手引またはホームページをご参照ください。●

団体契約者 社会福祉法人 全国社会福祉協議会

損害保険ジャパン株式会社 医療・福祉開発部 第二課
TEL：03(3349)5137
受付時間：平日の9:00～17:00（土日・祝日、年末年始を除きます。）

取扱代理店 株式会社 福祉保険サービス

〒100-0013 東京都千代田区霞が関3丁目3番2号 新霞が関ビル17F
TEL：03(3581)4667
受付時間：平日の9:30～17:30（土日・祝日、年末年始を除きます。）

(SJ25-11172より抜粋)

沖縄福祉人材ガイド

「沖縄県の福祉・介護分野における人材育成ガイドライン」活用しませんか！

福祉施設・事業所の人材育成を支援するために策定した『人材育成ガイドライン』（平成27年3月発行）では以下の主要内容について紹介しています。

- 職場内研修の進め方
- キャリアパスの整備
- 人材育成の仕組みづくり

事業所が抱えやすい課題に応える“実践的な指針”となっていますので、ぜひご活用ください。

【標準研修シラバス（手引書）】
OFF-JT（日常の業務を離れて行う研修）を企画する際に活用できる手引書。各階層別及び領域の項目並びに研修内容等を記載。（高齢・障害・児童の3種類）

ガイドラインの詳しい内容やダウンロードは下記ホームページへ

沖縄県福祉人材研修センター 検索



【ガイドライン】
福祉従事者が「ここでずっと働きたい」と思える施設・事業所づくりに必要な人材育成の考え方や具体的な人材育成体制の指針を掲載。



【ワークシート集】
ガイドラインに記載されている人材育成体制を整備する際に活用できる様式集。





令和7年度 NHK 歳末たすけあい募金 助成団体が決定しました!

歳末たすけあい募金運動は、誰もが地域社会の一員として孤立することなく、安心して新たな年を迎えることが出来るよう共同募金の一環として実施しています。

県内では、物価高騰などの影響で生活困窮者の増大が大きな課題となっており、本運動に寄せられた募金を活用して、困窮世帯や社会的に弱い立場にある方々への支援活動へ助成を決定しました。

児童養護施設

入所児童・里親委託児童の進学や就職に伴う支度金

施設名	内定額(円)
児童養護施設 愛隣園	290,000
児童養護施設 沖縄県立石嶺児童園	350,000
児童養護施設 ならさ	140,000
児童養護施設 島添の丘	70,000
児童養護施設 青雲寮	280,000
児童養護施設 なごみ	140,000
児童養護施設 美さと児童園	280,000
沖縄県里親会	700,000
自立援助ホーム 島添ホーム	70,000
小計	2,320,000

離島社会福祉協議会

要支援高齢者・障害児者・生活困窮世帯への見舞金

施設名	内定額(円)
伊平屋村社会福祉協議会	185,000
渡嘉敷村社会福祉協議会	35,000
多良間村社会福祉協議会	145,000
南大東村社会福祉協議会	3,000
北大東村社会福祉協議会	50,000
渡名喜村社会福祉協議会	250,000
粟国村社会福祉協議会	140,000
座間味村社会福祉協議会	95,000
小計	903,000

非営利団体

物価高騰等の影響により困窮している世帯への生活支援活動や居場所提供活動等

施設名	事業内容	内定額(円)
(一社) kokua	フードパントリー kokua	200,000
(特非) ゆい・ハート福祉会	生活支援活動	200,000
(一社) ある	実家に頼れない若者たちの生活困窮を支援する事業	200,000
生理の貧困を考える会おきなわ	子ども食堂・児童館・NPO・児童養護施設などへの生理用品の寄付活動	200,000
共有ステーションつむぎ	ベビーミルクが買えるようになる為の支援プロジェクト	200,000
(特非) Okinawa Hands-On NPO	～食と歌でつながりをお届け～「野菜たっぷり歌声食堂」	200,000
(特非) 子育て応援隊いっぽ	いっぽ外国ルーツ支援事業	200,000
女性を元気にする会	「物価高騰で困る世帯を支え、宅食・食料でつながる女性たちの自立を応援」	200,000
小計		1,600,000



内定通知書の受け取り



助成団体の皆さん



「愛ちゃんと希望くんのチムぢゅらさプロジェクト」：
サントリーフーズ沖縄株式会社



赤い羽根・歳末たすけあい：沖縄銀行



赤い羽根・歳末たすけあい：琉球銀行



りゅうちゃん募金：沖縄ガス株式会社



りゅうちゃん募金：沖縄県農林水産団体共済会



赤い羽根：(一社) 沖縄県歯科医師会

寄付・寄贈者芳名

(令和7年4月～12月)

共同募金へご協力いただいた
企業団体さまをご紹介します。



りゅうちゃん募金：第45回チャリティーいけばな展



歳末たすけあい：(一社) 沖縄県洋菓子協会



歳末たすけあい：(公社) 久米国鼎会

共同募金へのご寄付

- ★具志堅グループ琉鵬会
- ★一般社団法人沖縄県医師会
- ★株式会社サンエー
- ★沖縄県金融協会



歳末たすけあいへのご寄付

- ★具志堅グループ琉鵬会
- ★株式会社丸大
- ★沖縄銀行労働組合
- ★ポプラ子ども園
- ★沖縄セルラー電話株式会社

りゅうちゃん子どもの 希望募金へのご寄付

- ★沖縄フューチャーボランティアベースボール
- ★沖縄明治乳業株式会社
- ★株式会社メガネ一番
- ★沖縄電力株式会社
- ★三和金属株式会社
- ★中部興産株式会社
- ★セコム琉球株式会社
- ★一般社団法人新光管財
- ★CCCMK ホールディングス株式会社
- ★琉球海運株式会社
- ★沖縄県立首里高等学校
- ★沖縄ビル・メンテナンス株式会社



歳末たすけあい：沖縄製粉株式会社



歳末たすけあい：沖縄県ボウリング場協会



歳末たすけあい：沖縄明治乳業株式会社



歳末たすけあい：オキコ株式会社

沖縄県共同募金会
tel.098-882-4353